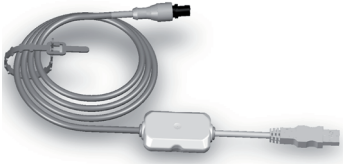
ifm electronic

CE

取扱説明書
IO-Link インターフェース

JP

E30396



エフェクター株式会社
本社　〔〒283-0826〕 千葉県東金市丘山台2-9-20
千葉東テクノグリーンパーク
TEL (0475) 50-3000 (代)

営業所　東京　名古屋　大阪　広島　九州

704481 / 00　11 / 2009

1 供給品

- IO-Link インターフェース
- FDT ソフトウエア（CD-ROM）
- 取扱説明書

2 システム条件

- Microsoft Windows® 2000 / Microsoft Windows® XP / Microsoft Windows® Vistaで動作するPC
- USB 2.0 ポート
- ハードディスクの空き容量 1 MB 以上
- CD-ROM ドライブ

3 機能と特徴

このIO-Linkインターフェースはセンサーとを接続して以下の機能を提供します。

- パラメータ設定値の読込み
- センサーのパラメータ設定
- 現在の測定値の読込み

このインターフェースはIO-Linkとifm仕様のEPSプロトコルをサポートしています。

センサーとコミュニケーションの為には：

ifmプログラムライブラリのDTMオブジェクト(ifm Containerの一部)をPCにインストールして下さい。

接続するセンサーとのインターフェースはUSBポートから供給される電源電圧が必要です。

▶ 従って直接USBポートに接続するか、電源供給の出来るUSBハブに接続して下さい。

パッシブUSBでの延長や、電源供給の出来ないUSBハブに接続しても動作しません。

他の電源を使用してセンサーを接続しないで下さい。
USBポートが損傷する恐れがあります。

PCとIO-Linkインターフェースの接続は1対1を前提にしており、複数のインターフェースを接続して正しく機能する事を保証する事は出来ません。

4 取付方法

PCは、古いソフトウェアとの互換性を確実にするために、仮想COMポートを通してPC addressesにインターフェースについて記述します。

インストール・プロセスを行う場合、管理者権限を持っていなくてはなりません。

インストール:

▶ CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入して下さい。

▶ USBポートにIO-Linkインターフェースを接続して下さい。

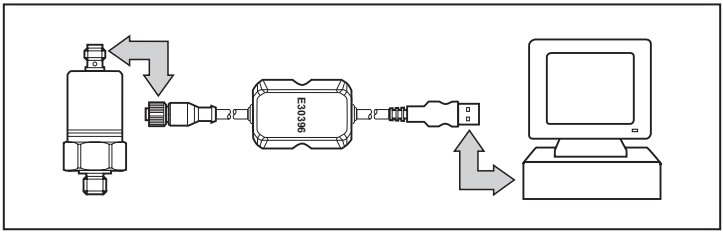
> Microsoft Windows® ハードウエアーウイザードが始まります。

▶ プログラムの指示に従って下さい。以下のオプションを選択する事が出来ます。

- ローカルで使用可能なドライバーソフトを探して下さい。
- 挿入されたCD-ROMからの選択
- ソフトウエアーの自動インストール

JP

5 操作方法



▶ PCのUSB 2.0 ポートにIO-Linkインターフェースを接続して下さい。

> 約5秒の初期化処理後、IO-Linkインターフェースはセンサーに電源電圧を供給します。

> センサーがFDTソフトウエアと通信出来ると、IO-Linkインターフェースは通信モードになりデータの交換を始めます。

センサーに適切な通信プロトコルがないと、データの交換は行われません。

但し、センサーに電源電圧は供給され続けます。

センサーのテストまたはデモンストレーションの目的での使用は可能です。

6 テクニカルデータ

入力電圧:	5 V
USBポートからの供給電流:	max. 500 mA
通信プロトコルのサポート:	IO-Link 1.0 (4,800 and 38,400 bits/s) EPS (19,200 bits/s)
センサーへの供給電圧	DC 24V
センサーへの供給電流	max. 65 mA
センサー接続ケーブル	2 m
USBケーブル	0.4 m
使用周囲温度	-25...45 °C
EMC EN 61000-4-2 ESD 静電気放電に対する耐性:	4 / 15 kV
EN 61000-4-3 HF radiated 電磁界に対する耐性:	30 V/m (80...1000 MHz)
EN 61000-4-4 Burst バーストに対する耐性:	2 kV; coupling clamp
EN 61000-4-5 Surge サージに対する耐性:	0.5 kV supply / 1 kV signal
EN 61000-4-6 HF conducted 高周波誘導結合に対する耐性:	10 V (0.15...80 MHz)

技術データ、その他の情報については下記も併せてご参照下さい。
www.ifm.com → Data sheet direct:

お断りなく仕様等記載事項を変更する事がありますのでご了承下さい。